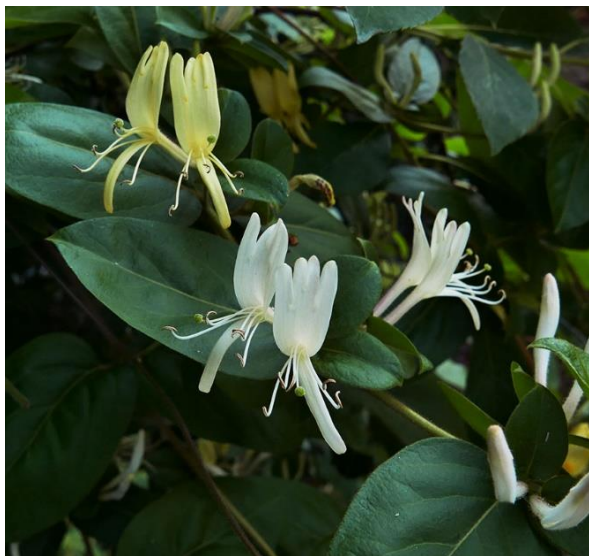


びわこ文化公園植物だより〔β版〕

## スイカズラ スイカズラ科

・学名 *Lonicera japonica*

・園内に自生。花期は5月下旬～6月上旬



📍 スイカズラが見られる場所は文の最後！

つる草のように見えるつる性の低木。滋賀県を含め本州の平地ではふつうに見られます。

スイカズラの名は子供が花を摘んでその根元にある蜜を吸ったことからきているといわれます。スイカズラの仲間は英語ではハニーサックルとよばれますが、これも「蜜を吸う」意味です。

スイカズラは変わった特徴を多くもつ花です。花は手袋の親指を引っぱって伸ばしたようなおもしろい形をしていて、それが必ず2個ずつペアになって咲きます。花の色は咲いたときは白ですが、1～2日後に黄色に変わります(この特徴から中国では金銀花とよばれます)。そしてこの花は夕方になるとジャスミンのようなすばらしい香りをただよわせます。これは夜行性の昆虫を呼ぶためです。

スイカズラはかつて観賞用に海外に持ち出されましたが、海外の多くの地域で野生化して大繁殖し、「侵略的外来種」として問題視されるようにな

ってしまいました。海外でがんばっていても応援するわけにはいかない、ちょっと困った同胞でもあります。

(龍谷大学農学部 三浦励一)

❁ スイカズラは[ここ](#)や[ここ](#)で見られます

(Google マップにリンク。10m程度の誤差が出る場合があります)